



平成30年2月6日

各位

会社名 G-FACTORY株式会社
代表者名 代表取締役社長 片平 雅之
(コード: 3474 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 田口 由香子
(TEL. 03-5325-6868)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成29年2月9日に公表いたしました平成29年12月期（平成29年1月1日～平成29年12月31日）の通期連結業績予想を下記とおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成29年12月期 通期連結業績予想値の修正（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

| | 連結売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり連結 当期純利益 |
|--------------------------|--------------|------------|------------|---------------------|------------------|
| 前回発表予想（A） | 百万円 3,019 | 百万円 500 | 百万円 500 | 百万円 345 | 円 銭 53.08 |
| 今回修正予想（B） | 2,909 | 355 | 351 | 179 | 27.20 |
| 増減額（B-A） | △110 | △145 | △149 | △166 | — |
| 増減率（%） | △3.6 | △29.0 | △29.8 | △48.1 | — |
| （ご参考）前期実績 （平成28年12月期） | 2,579 | 447 | 440 | 290 | 49.99 |

2. 修正の理由

連結売上高につきましては、上期に経営サポート事業の顧客が破産し、同社への対応にリソースを振り向けたため、社内の限られたリソースの関係上、他の営業活動（新規顧客獲得活動）の滞りにより当初予想より下回る見通しとなりました。

また、利益面につきましては、主に、経営サポート事業の損益管理を精緻化するために、物件情報サポートの売上原価である「礼金・更新料」の計上方法を従来の期間按分計上から一括計上にしたことにより44百万円を計上、また、当社所有の事業用資産について収益性の低下により減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、単体・連結ともに減損損失33百万円を計上したことにより、当初予想より下回る見通しとなりました。

注) 本資料に記載されている予想値は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の実績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

以上